

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2023年4月14日まで（2013年4月22日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	リスク・パリティ α オープン	アキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド（JPY）受益証券およびマネー・プール マザーファンド受益証券
	アキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド（JPY）	世界各国の株式、債券、コモディティおよび短期金利の指数等に係るスワップ取引または先物取引に係る権利
	マネー・プールマザーファンド	わが国の公社債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> 主として、世界各国の株式、債券、コモディティ、短期金利の指数等に関するスワップ取引・先物取引を活用します。 アキラ・キャピタルの「リスク・パリティ戦略」を活用した運用を行います。 原則として、対円で為替ヘッジを行います。 	
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 	
分配方針	毎年4月14日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

リスク・パリティ α オープン



第5期（決算日：2018年4月16日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「リスク・パリティ α オープン」は、去る4月16日に第5期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額		債組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率	純資産総額
		税金配分	騰落率				
(設定日) 2013年4月22日	円 10,000	円 -	% -	% -	% -	% -	百万円 2,952
1期(2014年4月14日)	9,550	0	△4.5	0.1	-	98.9	3,507
2期(2015年4月14日)	10,139	0	6.2	0.0	-	99.0	1,592
3期(2016年4月14日)	8,824	0	△13.0	0.0	-	99.0	1,146
4期(2017年4月14日)	9,279	0	5.2	-	-	99.0	814
5期(2018年4月16日)	9,081	0	△2.1	-	-	99.1	536

- (注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。
- (注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
- (注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
- (注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。
- (注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	基準価額		債組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率
		騰落率	騰落率			
(期首) 2017年4月14日	円 9,279	% -	% -	% -	% -	% 99.0
4月末	9,250	△0.3	-	-	-	99.0
5月末	9,425	1.6	-	-	-	99.0
6月末	9,053	△2.4	-	-	-	99.0
7月末	9,171	△1.2	-	-	-	99.0
8月末	9,293	0.2	-	-	-	99.0
9月末	9,242	△0.4	-	-	-	99.1
10月末	9,786	5.5	-	-	-	99.0
11月末	9,903	6.7	-	-	-	95.9
12月末	9,904	6.7	-	-	-	99.0
2018年1月末	9,739	5.0	-	-	-	99.0
2月末	8,905	△4.0	-	-	-	99.1
3月末	9,060	△2.4	-	-	-	99.0
(期末) 2018年4月16日	9,081	△2.1	-	-	-	99.1

- (注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。
- (注) 騰落率は期首比。
- (注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

運用経過

当期中の基準価額等の推移について

(第5期：2017/4/15～2018/4/16)

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ2.1%下落しました。



第5期首：9,279円
 第5期末：9,081円
 (既払分配金 0円)
 騰落率：-2.1%

・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

下落要因

先進国債券の利回り上昇などが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

(第5期：2017/4/15～2018/4/16)

◎株式市況

- ・先進国の株式市況は、上昇しました。欧米における堅調な経済指標の他、米国における税制改革に対する期待感などから、上昇しました。

◎債券市況

- ・先進国の債券利回りは、上昇しました。米連邦公開市場委員会（FOMC）による利上げ実施や保有資産縮小の決定のほか、欧州中央銀行（ECB）が早期に金融引き締め姿勢に転じるとの警戒感などから、上昇しました。

◎短期金利（約2年後に期限が満了する金利先物）

- ・米ドルの短期金利は、米利上げ実施などから、上昇しました。
- ・ユーロの短期金利は、米国の要因のほか、欧州における金融引き締めへの警戒感などから、上昇しました。
- ・英ポンドの短期金利は、堅調な欧米景気のほか、英インフレ率の高まりなどから、上昇しました。

◎コモディティ市況

- ・コモディティ市況は、上昇しました。
- ・原油価格は、石油輸出国機構（OPEC）での協調減産などから、上昇しました。
- ・金価格は、米政治的不透明感や地政学リスクの高まりから、上昇しました。

◎国内短期金融市場

＜無担保コール翌日物金利の推移＞

- ・日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移し、足下ではマイナス0.06%程度で推移しました。

＜国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移＞

- ・日銀による短期国債の買入れなどから、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りは概ねマイナス0.1%を下回る水準で推移しました。期首から2017年4月下旬にかけてマイナス0.17%程度まで低下しました。その後、短期国債の需給緩和などから、7月中旬にかけてマイナス0.1%を超える水準まで上昇しました。11月下旬にかけて地政学リスクの高まりや短期国債の需給引き締めなどからマイナス0.25%程度まで低下しました。その後、短期国債の需給緩和などから期末にかけて上昇し、足下はマイナス0.18%程度で推移しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

i 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

＜リスク・パリティ α オープン＞

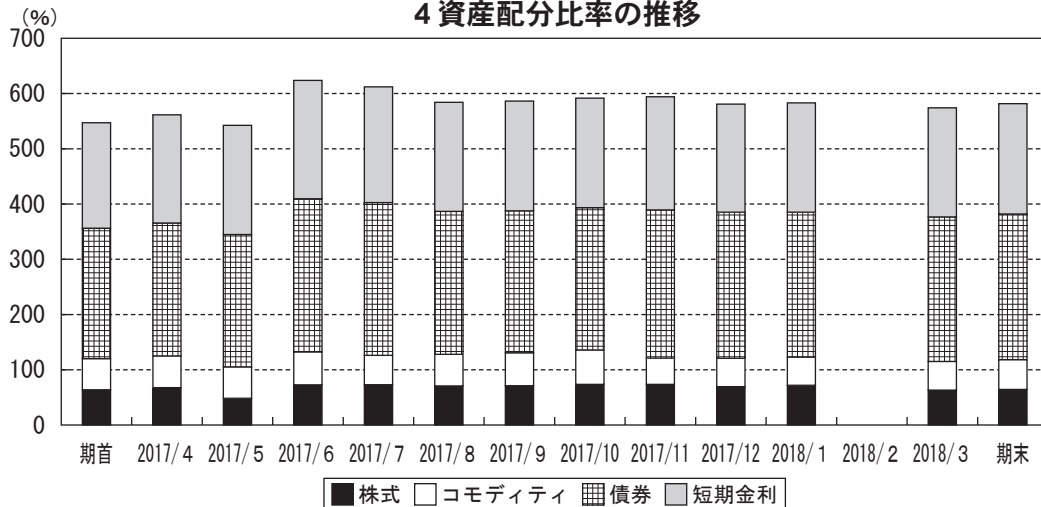
- ・円建の外国投資信託であるアキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド（JPY）受益証券に投資を行いました。また、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行いました。

＜アキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド（JPY）＞

- ・主として世界各国の株式、債券、コモディティ、短期金利の指数等に関するスワップ取引・先物取引を活用し、アキラ・キャピタルの「リスク・パリティ戦略」を活用した運用を行いました。また、為替変動の影響を受ける部分について、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。
- ・ポートフォリオの構築にあたっては、①「株式」「債券」「コモディティ」「短期金利」の4つの資産に対して、「リスク・パリティ戦略」による分散投資、②アルファ・モデルによる更なる投資効率の追求のため配分比率の調整、③フロアの設定による月間損失率のコントロールを行いました。
- ・この結果、期初から2018年2月初旬頃までの4資産の合計組入比率は550~600%程度としました。2月初旬に米金利上昇への警戒感などから株式市況などが急落したため、月間損失率の抑制のため2月中旬までに安全資産と為替ヘッジを除き、全てのポジションを解消しました。3月に入り月間損失率の制約が解除されたため再びポジションを構築し、3月初旬から期末にかけての4資産の合計組入比率は550%~600%程度としました。
- ・スワップ取引および先物取引に必要な証拠金以外の資金の一部を、残存期間の短いドイツ国債（先進国国債）に投資を行いました。
- ・2018年2月は株式急落などが大きくマイナスに影響したものの、期を通して見ると先進国債券利回りの上昇などが、マイナスに影響しました。

(ご参考)

4 資産配分比率の推移



- ・ 比率はアキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド（JPY）の純資産総額に対する割合で、債券（現物資産）、現金等、為替取引は含みません。
- ・ 4資産配分比率は現地月末の値、期首は2017年4月13日の値、期末は2018年4月13日の値です。

<マネー・プール マザーファンド>

- ・ わが国のコール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保および適正な流動性の保持を図りました。その結果、利子等収益は積み上がったものの、運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は期首と比べて下落となりました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

i 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】 (単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第5期
	2017年4月15日～2018年4月16日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	449

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

<リスク・パリティ α オープン>

◎今後の運用方針

- ・引き続き、円建の外国投資信託であるアキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド（JPY）受益証券に投資を行います。また、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行います。

<アキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド（JPY）>

◎今後の運用方針

- ・引き続き、主として世界各国の株式、債券、コモディティ、短期金利の指数等に関するスワップ取引・先物取引を活用し、アキラ・キャピタルの「リスク・パリティ戦略」を活用した運用を行います。また、為替変動の影響を受ける部分について、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。
- ・ポートフォリオの構築にあたっては、①「株式」「債券」「コモディティ」「短期金利」の4つの資産に対して、「リスク・パリティ戦略」による分散投資、②アルファ・モデルによる更なる投資効率の追求のため配分比率の調整、③フロアの設定による月間損失率のコントロールを行う方針です。

<マネー・プール マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンおよびCP現先取引などへの投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持をめざした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2017年4月15日～2018年4月16日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 121	% 1.288	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(46)	(0.491)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(72)	(0.764)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.033)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.011	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.011)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	122	1.299	
期中の平均基準価額は、9,394円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年4月15日～2018年4月16日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	アキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド (JPY)	千口 —	千円 —	千口 296,039	千円 272,961

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2017年4月15日～2018年4月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年4月16日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
		千口	千口	千円	%
アキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド(JPY)		886,268	590,228	531,855	99.1
合 計		886,268	590,228	531,855	99.1

(注) 比率はリスク・パリティ α オープンの純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
マネー・プール マザーファンド		0.995	0.995	0.999

○投資信託財産の構成

(2018年4月16日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 531,855	% 98.4
マネー・プール マザーファンド	0.999	0.0
コール・ローン等、その他	8,562	1.6
投資信託財産総額	540,417	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年4月16日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	540,417,877
コール・ローン等	8,561,603
投資信託受益証券(評価額)	531,855,275
マネー・プール マザーファンド(評価額)	999
(B) 負債	3,733,571
未払信託報酬	3,702,242
未払利息	15
その他未払費用	31,314
(C) 純資産総額(A-B)	536,684,306
元本	591,022,444
次期繰越損益金	△ 54,338,138
(D) 受益権総口数	591,022,444口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,081円

<注記事項>

- ①期首元本額 877,567,802円
 期中追加設定元本額 68,562円
 期中一部解約元本額 286,613,920円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.9081円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は54,338,138円です。

③分配金の計算過程

項 目	2017年4月15日～ 2018年4月16日
費用控除後の配当等収益額	－円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	4,619,395円
分配準備積立金額	21,963,128円
当ファンドの分配対象収益額	26,582,523円
1万口当たり収益分配対象額	449円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

○損益の状況 (2017年4月15日～2018年4月16日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 4,578
受取利息	83
支払利息	△ 4,661
(B) 有価証券売買損益	△ 3,390,832
売買益	7,728,555
売買損	△11,119,387
(C) 信託報酬等	△ 8,327,372
(D) 当期損益金(A+B+C)	△11,722,782
(E) 前期繰越損益金	△38,367,875
(F) 追加信託差損益金	△ 4,247,481
(配当等相当額)	(4,619,395)
(売買損益相当額)	(△ 8,866,876)
(G) 計(D+E+F)	△54,338,138
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△54,338,138
追加信託差損益金	△ 4,247,481
(配当等相当額)	(4,619,395)
(売買損益相当額)	(△ 8,866,876)
分配準備積立金	21,963,128
繰越損益金	△72,053,785

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お 知 ら せ】

- ①当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。
(変更前(旧) <http://www.am.mufg.jp/> → 変更後(新) <https://www.am.mufg.jp/>)
(2018年1月1日)
- ②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5% (法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。)) の税率が適用されます。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

(2018年4月16日現在)

<マネー・プール マザーファンド>

下記は、マネー・プール マザーファンド全体(168,975千口)の内容です。

国内その他有価証券

区 分	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 99,999	% 58.9

(注) 比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

当ファンドは、リスク・パリティ α オープンが投資対象とする円建の外国投資信託証券です。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

投資の基本方針	<p>主として、世界各国の株式、債券、コモディティ、短期金利の指数等に関するスワップ取引・先物取引を活用します。また、為替変動の影響を受ける部分については、原則として対円で為替ヘッジを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スワップ取引および先物取引は、実質的に投資対象となる各資産について、原則としてロング・ポジション（買い持ち）を構築します。 先物取引については、組入比率の調整を目的として、売建てを行う場合があります。 ・スワップ取引および先物取引以外の部分については、主として先進国の国債に投資を行います。
運用方針	<p>「リスク・パリティ戦略」を活用した運用を行います。</p> <p>当戦略では、各資産それぞれの価格変動がポートフォリオ全体のパフォーマンスに与える影響度がおおむね均等となるように分散投資を行います。</p>
投資顧問会社	アキラ・キャピタル・インベストメントゲゼルシャフト・エムペーハー [※]
信託期限	無期限
設定日	2013年4月22日
会計年度	毎年12月末
収益分配	原則として、毎月分配を行います。

※アキラ・キャピタル・インベストメントゲゼルシャフト・エムペーハーは、オルタナティブ投資に特化したドイツの独立系運用会社です。アキラ・グループでは、2004年よりリスク・パリティ戦略を用いたファンドの運用を行っています。

アキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド（J P Y）

損益計算書、純資産変動計算書、投資明細表は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

1. 損益計算書

(2016年12月30日に終了する期間)

(円で表示)

費用		
専門家報酬	¥	7,225,329
保管費用		6,868,537
運用受託報酬		6,359,548
会計処理および管理手数料		4,750,832
償却費用		3,515,725
受託者報酬		1,172,883
立替諸経費支払		1,021,888
名義書換事務代行手数料		628,709
登録手数料		130,194
その他費用		101,901
費用合計		31,775,546
投資純損益		(31,775,546)
実現および未実現損益：		
実現損益：		
投資有価証券		(70,304,805)
先物取引		93,198,984
スワップ取引		38,320,400
外国為替取引および外国為替予約取引		(1,126,955)
実現純損益		60,087,624
未実現評価損益の純変動：		
投資有価証券		21,175,287
スワップ取引		4,594,317
先物取引		(15,694,932)
外国為替取引および外国為替予約取引		352,385
未実現評価損益の純変動		10,427,057
実現および未実現損益（純額）		70,514,681
運用による純資産の増減（純額）	¥	38,739,135

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

2. 純資産変動計算書

(2016年12月30日に終了する期間)

(円で表示)

運用による純資産の増減額：		
投資純損益	¥	(31,775,546)
実現純損益		60,087,624
未実現評価損益の純変動		10,427,057
運用による純資産の増減額		38,739,135
ファンデュニットの取引による純資産の増減額 (327,828,923)		
純資産の増減額 (289,089,788)		
純資産		
期首		1,168,728,005
期末	¥	879,638,217

Class A

ファンデュニットの取引		
ユニット数		
償還		(380,138,144)
ユニット増減数		(380,138,144)
金額		
償還	¥	(327,828,923)
ファンデュニットの取引による増減額	¥	(327,828,923)

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

3. 投資明細表

(2016年12月30日現在)

元本金額	銘柄名	純資産比率	公正価値
	FIXED INCOME SECURITIES (56.1%)		
	GERMANY (56.1%)		
	GOVERNMENT BONDS (56.1%)		
	Bundesobligation		
EUR	1,450,000		0.50% due 02/23/18
			Bundesrepublik Deutschland
EUR	1,300,000		4.25% due 07/04/17
			Bundesschatzanweisungen
EUR	1,200,000		0.00% due 03/16/18 (a)
			TOTAL GOVERNMENT BONDS
			TOTAL GERMANY (Cost ¥480,808,262)
			<u>494,127,344</u>
			FIXED INCOME SECURITIES (Cost ¥480,808,262)
			<u>494,127,344</u>
	SHORT-TERM INVESTMENTS (16.3%)		
	UNITED STATES (1.5%)		
	TIME DEPOSIT (1.5%)		
	JPMorgan Chase & Co.		
USD	112,304		0.26% due 01/03/17
			<u>13,125,531</u>
			TOTAL TIME DEPOSIT
			<u>13,125,531</u>
			TOTAL UNITED STATES (Cost ¥13,199,764)
			UNITED KINGDOM (0.4%)
			TIME DEPOSIT (0.4%)
	Citibank N.A.		
EUR	29,018		(0.56)% due 01/02/17 (b)
			<u>3,570,076</u>
			TOTAL TIME DEPOSIT
			<u>3,570,076</u>
			TOTAL UNITED KINGDOM (Cost ¥3,596,496)
			<u>3,570,076</u>
	JAPAN (14.4%)		
	TIME DEPOSIT (14.4%)		
	Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ, Ltd.		
JPY	126,362,545		(0.28)% due 01/04/17 (b)
			<u>126,362,545</u>
			TOTAL TIME DEPOSIT
			<u>126,362,545</u>
			TOTAL JAPAN (Cost ¥126,362,545)
			TOTAL SHORT-TERM INVESTMENTS (Cost ¥143,158,805)
			<u>143,058,152</u>
		72.4%	¥ 637,185,496
	CASH AND OTHER ASSETS IN EXCESS OF LIABILITIES	27.6	<u>242,452,721</u>
	NET ASSETS	100.0%	<u>¥ 879,638,217</u>

(a) A zero balance may reflect actual amounts rounding to less than 0.05%.

(b) Due to deposit rate cuts by the Central Bank in Japan and European central banks, interest rates for Japanese Yen and Euro-denominated short-term investments may be less than zero percent.

(2016年12月30日現在)

先物取引

Cash in the amount of ¥144,004,855 has been pledged as collateral for the following futures contracts as of December 30, 2016.

ポジション	銘柄	限月	契約		未実現 評価損益
Long	90-day Eurodollar Future	06/2018	22	¥	(5,560,328)
Long	90-Day Sterling Future	06/2018	18		(712,982)
Long	Australia Government 10-Year Bond Future	03/2017	10		606,945
Long	Canada Government 10-Year Bond Future	03/2017	24		(2,582,714)
Long	E-mini S&P 500 Future	03/2017	9		(1,593,591)
Short	EUR/JPY Future	03/2017	(32)		2,235,200
Long	Euro STOXX 50 Future	03/2017	40		1,230,285
Long	Euro-BTP Italian Government Future	03/2017	5		1,283,187
Long	Euro-Bund Future	03/2017	4		1,274,575
Long	Euro-OAT Future	03/2017	4		871,042
Long	Long Gilt Future	03/2017	14		5,976,084
Long	Mini 10-Year JGB Future	03/2017	12		171,000
Long	Topix Index Future	03/2017	6		2,280,000
Long	US 10 Year Note Future	03/2017	25		(995,381)
				¥	<u>4,483,322</u>

通貨略称

EUR	-	Euro
JPY	-	Japanese Yen
USD	-	United States Dollar

マネー・プール マザーファンド

《第17期》決算日2018年1月15日

[計算期間：2017年7月15日～2018年1月15日]

「マネー・プール マザーファンド」は、1月15日に第17期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第17期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		期騰	中率			
	円		%			百万円
13期(2016年1月14日)	10,049		0.0	70.3	—	852
14期(2016年7月14日)	10,050		0.0	62.2	—	241
15期(2017年1月16日)	10,047		△0.0	—	—	355
16期(2017年7月14日)	10,046		△0.0	—	—	284
17期(2018年1月15日)	10,046		0.0	—	—	707

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	債券率
		騰	落率			
(期首)	円		%			%
2017年7月14日	10,046		—	—	—	—
7月末	10,046		0.0	—	—	—
8月末	10,046		0.0	—	—	—
9月末	10,046		0.0	—	—	—
10月末	10,046		0.0	—	—	—
11月末	10,046		0.0	—	—	—
12月末	10,046		0.0	—	—	—
(期末)						
2018年1月15日	10,046		0.0	—	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ横ばいとなりました。

基準価額等の推移



●投資環境について

<無担保コール翌日物金利の推移>

- ・日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。日銀のマイナス金利の適用を受けて、足下はマイナス0.03%程度で推移しました。

<国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移>

- ・日銀による短期国債の買入れなどから、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りはマイナス0.1%を下回る水準で推移しました。2017年9月上旬にかけて地政学的リスクの高まりや短期国債の需給引き締めなどからマイナス0.23%程度まで低下しました。その後、一時的に上昇したものの、11月下旬にかけてマイナス0.25%程度まで低下しました。期末にかけては短期国債の需給緩和などから上昇し、足下はマイナス0.14%程度で推移しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・わが国のコール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、利子等収益の確保および適正な流動性の保持を図りました。その結果、利子等収益は積み上がったものの、運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は期首と比べて横ばいとなりました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンおよびCP現先取引などへの投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持をめざした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2017年7月15日～2018年1月15日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2017年7月15日～2018年1月15日)

その他有価証券

		買付額	売付額
国内	コマーシャル・ペーパー	千円 24,699,988	千円 24,699,989

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2017年7月15日～2018年1月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年1月15日現在)

国内その他有価証券

区分	当期末	
	評価額	比率
コマーシャル・ペーパー	千円 199,999	% 28.3

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○投資信託財産の構成

(2018年1月15日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
その他有価証券	千円 199,999	% 28.3
コール・ローン等、その他	507,890	71.7
投資信託財産総額	707,889	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年1月15日現在)

項目	当期末 円
(A) 資産	707,889,947
コール・ローン等	507,890,052
其他有価証券(評価額)	199,999,895
(B) 負債	562
未払解約金	27
未払利息	535
(C) 純資産総額(A-B)	707,889,385
元本	704,659,552
次期繰越損益金	3,229,833
(D) 受益権総口数	704,659,552口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,046円

<注記事項>

- ①期首元本額 283,155,785円
 期中追加設定元本額 597,292,626円
 期中一部解約元本額 175,788,859円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0046円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2013-12	99,582円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-02	99,572円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-03	99,572円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-04	99,562円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-09	99,553円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-12	99,533円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2014-12	99,533円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2015-03	99,523円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし) 2015-03	99,523円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2015-03	99,523円
新興国公社債オープン(通貨選択型)円コース(毎月決算型)	1,692,054円
新興国公社債オープン(通貨選択型)米ドルコース(毎月決算型)	200,000円
新興国公社債オープン(通貨選択型)豪ドルコース(毎月決算型)	1,008,738円
新興国公社債オープン(通貨選択型)南アフリカ・ランドコース(毎月決算型)	63,697円
新興国公社債オープン(通貨選択型)ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	6,316,452円
新興国公社債オープン(通貨選択型)マナー・プール・ファンド(年2回決算型)	7,028,725円
世界投資適格債オープン(通貨選択型)円コース(毎月決算型)	5,154,901円
世界投資適格債オープン(通貨選択型)米ドルコース(毎月決算型)	49,966円
世界投資適格債オープン(通貨選択型)豪ドルコース(毎月決算型)	995,161円
世界投資適格債オープン(通貨選択型)ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	2,234,005円
世界投資適格債オープン(通貨選択型)中国元コース(毎月決算型)	28,349円
世界投資適格債オープン(通貨選択型)インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	1,013,875円
世界投資適格債オープン(通貨選択型)マナー・プール・ファンドII(年2回決算型)	6,981,713円
新興国公社債オープン(通貨選択型)中国元コース(毎月決算型)	19,989円
マナー・プール・ファンドIV	1,095,658円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)円コース(毎月決算型)	4,314,823円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)米ドルコース(毎月決算型)	119,857円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)豪ドルコース(毎月決算型)	769,078円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	15,855,020円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)中国元コース(毎月決算型)	19,977円

○損益の状況 (2017年7月15日~2018年1月15日)

項目	当期 円
(A) 配当等収益	△ 14,464
受取利息	751
支払利息	△ 15,215
(B) 当期損益金(A)	△ 14,464
(C) 前期繰越損益金	1,305,358
(D) 追加信託差損益金	2,747,457
(E) 解約差損益金	△ 808,518
(F) 計(B+C+D+E)	3,229,833
次期繰越損益金(F)	3,229,833

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	554,401円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 資源国通貨バスケットコース (毎月決算型)	1,608,548円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) マナー・プール・ファンドV (年2回決算型)	15,920,294円
米国高利回り社債ファンド (毎月決算型)	999円
米国高利回り社債・円ファンド (毎月決算型)	999円
米国高利回り社債・ブラジル・レアルファンド (毎月決算型)	999円
マナー・プール・ファンドVI	580,662,025円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (毎月決算型)	19,961円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 分配型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 分配型	99,561円
トレンド・アロケーション・オープン	997,308円
エマージング社債オープン (毎月決算型) 為替ヘッジあり	99,682円
エマージング社債オープン (毎月決算型) 為替ヘッジなし	99,682円
リスク・パリティ α オープン	995円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (毎月決算型)	19,925円
米国エネルギーMLPオープン (毎月決算型) 為替ヘッジあり	996,215円
米国エネルギーMLPオープン (毎月決算型) 為替ヘッジなし	996,215円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) インド・ルピーコース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) マレーシア・リンギコース (毎月決算型)	99,602円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 円コース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 米ドルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 米ドルコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ブラジル・レアルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ブラジル・レアルコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ロシア・ルーブルコース (1年決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ロシア・ルーブルコース (毎月決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 中国元コース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (1年決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) マナー・プール・ファンドIX (1年決算型)	19,618,001円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) マナー・プール・ファンドX (年2回決算型)	24,545,371円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジあり)	4,979円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジなし)	4,979円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	99,562円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,957円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジありコース (年2回決算型)	9,957円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,957円

US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジなしコース (年2回決算型)	9,957円
優先証券プラス・オープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替プレミアムコース (年2回決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジありコース (年2回決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジなしコース (年2回決算型)	9,956円
米国成長株オープン	996円
世界CoCosオープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	9,953円
世界CoCosオープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,953円
世界CoCosオープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,953円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) 毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) 年2回決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) 毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) 年2回決算型	9,952円
合計	704,659,552円

【お 知 ら せ】

当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。
 (変更前 (旧) <http://www.am.mufg.jp/> → 変更後 (新) <https://www.am.mufg.jp/>)
 (2018年1月1日)